

Dream

Hope

夢や希望がいっぱい

未来を拓く子どもたちを育む

未来を担う子どもたちが、将来の夢や希望を持って主体的に学び、自らの人生を切り拓き、たくましく生きる力を育むために、学校教育の充実を図っています。

問合せ 指導室 ☎内線3388

「読書を愛するまち・あらかわ」宣言と併せ、子どもたちの身近な読書や学びの場として学校図書館のさらなる活用を図るため、全小・中学校に学校司書を配置し、司書教諭と連携しながら、読書活動を推進しています。

4・5面で、未来を拓く子どもたちを育む主な取り組みを紹介します

▶ 教育環境のさらなる充実に向けて

「読書は『心の栄養』です。読書を通じて、言葉を学び、考える力を身につけ、感性を磨き、想像力を豊かにし、人生を自ら切り拓いていく力を育みます。」これは、読書の素晴らしさを子どもたちに伝えるために、平成30年5月に宣言した「読書を愛するまち・あらかわ」宣言の一節です。区ではこれまで、この宣言のほか、ゆいの森あらかわの開館、日暮里図書館のリニューアルオープン等、誰もが読書に親しめる環境整備を行ってきました。特に、未来社会の守護者である子どもたちに対しては、豊かな感性や創造力を育むことができるよう、すべての学校図書館に学校司書を配置し、積極的に授業に活用する等、先駆的な取り組みを進めています。また「荒川区学校教育ビジョン」に基づき、教育環境の充実のため、区立の全小・中学校でタブレット端末等を活用するほか、災害への備えとして、区立全中学校の防災部設置に加え、避難所となる学校体育館への空調導入も進めています。さらに、幼稚園の芸術教育における東京藝術大学との連携等、教育内容のさらなる充実を図っています。今後も、子どもたちが、変化する社会の中で心豊かにたくましく生き抜く力を習得できるよう、全力を尽くして参りますので、ご理解とご協力をお願いします。



荒川区長・特別区長会会長
西川 太一郎